

平成二十九年 第三十回夕暮祭短歌大会入賞歌

秦野市長賞

丹沢の山ふところを飛びいでて大磯めざす若き青鳩

神奈川県秦野市

田中 恵美子

秦野市教育委員会教育長賞

自らの卒業証書を漉くという頬紅き子は漉き桁ゆらす

山口県周南市

熊本 芳郎

秦野短歌会会長賞

ふと気づく手のささくれと切り傷を湯けむりに翳す一日のおわり

長崎県諫早市

山本 博幸

村岡嘉子選者賞

春を連れ富山に来たる螢鳥賊 漁夫はすなだる春の夜光を

東京都町田市

永田 吉文

山田吉郎選者賞

白備えの甲冑付けて銀杏の実落葉の下に冬を越したり

山梨県山梨市

佐藤 由子

佳作

始業式終へたる児らの弾む声北半球を燕尾風きる

神奈川県伊勢原市

門 久仁子

入線を知らせるZARDの「負けないで」よしと構えて治療に向かう

神奈川県秦野市

柳川 維

桜待つ寺の巖にすみれ咲き母のやさしく幼子を呼ぶ

滋賀県湖南市

俵山 友里

作業所のクツキーほろりと舌先で崩せばやさしい二月は光

兵庫県西脇市

大江 美典

震災後六年を経たるいまだにも復興を見ずふるさとふくしま

神奈川県秦野市

杉山 頼子

初夢に録画ボタンがあつたなら夢の欠片を繋がずとも済む

東京都武蔵野市

本田 しおん

スマホと向き合う人の満ち満ちて話の咲かない電車が走る

オーストラリア

高山 昭子

蒼穹の光りが峰を狙い撃ち二ノ塔辺り綿雲二つ

神奈川県秦野市

宮田 新

くるたびに柱の前に孫立たせ妻は背丈をななめにはかる

神奈川県平塚市

星野 一英

さくら坂こぎ登る子のはく息を汽笛と風が追いかけてゆく

東京都小金井市

中村 哲

爺には絶対負けじとかるた取る覚えたばかりの字に飛びつきて

神奈川県厚木市

丸山 浅子

古民家の春いろフェスタにブロンドのポニーテールがきびきび動く

神奈川県伊勢原市

山田 ゆたか

君の話がパン生地みたいに膨らむまでぼくは待つてるおーい雲よ

山口県周南市

森元 輝彦

病む父の今日の笑顔を見たいから病室の前笑顔を作る

岡山県岡山市

信安 淳子

相模野の空ひろびろとその果に春雪まとひ阿夫利嶺は聳つ

神奈川県厚木市

関野 喜代子

塔ノ岳の枯草むらに風おりて山のくぼみに山桜咲く

山梨県甲州市

秋野 正彰

「おかえり」と笑う秦野のばあちゃんの厚い手のひら両手で握る

神奈川県小田原市

井上 靖

蘇我さんと飛鳥川辺でじゃんけんをして飛び石を渡しし夕べ

奈良県橿原市

松井 純代

夕暮れの施設の窓に浮かびくる父の眼窩は翳を濃くせり

神奈川県秦野市

福島 健太郎

受話器よりこぼるる高き笑い声卒寿の長姉の「元気」着信

神奈川県秦野市

内田 禧子